

Change the 卸 *next*
革新と創造

株主の皆さまへ

第 109 期

株主通信

事業活動の中間ご報告

2017年4月1日～ 2017年9月30日

目次

ごあいさつ.....	1
社長メッセージ	2
メディパルグループの価値創造プロセス	5
特集	
「Change the 卸 next - 革新と創造」	7
JCRファーマとの業務資本提携	
クローズアップ	9
連結業績ハイライト	10
セグメント別業績	11
会社概要	13
株式の状況	14

株式会社 メディパルホールディングス

証券コード7459

流通価値の創造を通じて 人々の健康と社会の発展に貢献します。

株主の皆さまには、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

日ごろのご支援に心より感謝申し上げます、ここに株主通信(第109期事業活動の中間ご報告)をお届けいたします。

メディパルグループでは「医療と健康、美」の流通で社会に貢献する新しい卸の形をめざし、「2019メディパル中期ビジョン Change the 卸 next - 革新と創造」に沿った取組みを展開しております。

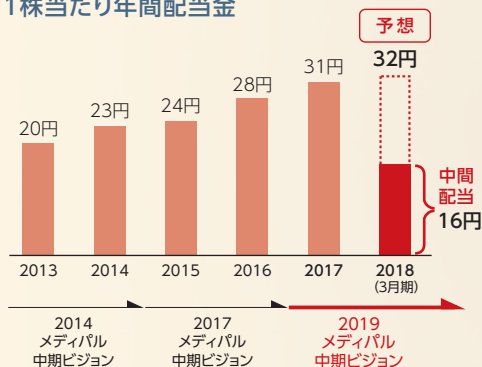
既存事業のさらなる効率化と機能の拡充、全国のインフラと人材を活用した新規事業の推進、グループ各社の機能・資源を活かした成長分野の事業展開により収益基盤を拡大し、持続的な成長を実現してまいります。

株主の皆さまには、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

配当のご案内 2018年3月期 中間配当金 1株当たり16円

当社は、連結配当性向25% **1株当たり年間配当金**を目安に安定配当を継続することを基本方針としております。

当期の財務状況等を勘案の上、2018年3月期の中間配当は前年度から1円増額の16円といたしました。年間配当は32円を予想しております。



代表取締役社長 渡辺 秀一

次なる成長のステージへ ビジョンに沿った取組みを力強く推進

3か年の「2019メディパル中期ビジョン Change the 卸 next - 革新と創造」が折り返しを迎えました。ビジョンに沿った取組みは順調に進んでおり、業績も想定どおり推移しております。

医療用医薬品等卸売事業では、既存事業において物流と営業に一層の磨きをかけました。加えて、新規事業の推進に積極的に取り組みました。設備投資に伴うコストアップはありましたが、将来の新たな収益を創出する事業基盤づくりが一段と進みました。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業および動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業は、順調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は1兆5,602億円(前年同期比2.0%増)、営業利益は196億円(前年同期比5.6%減)、経常利益は258億円(前年同期比4.1%減)、特別利益に係会社株主売却益47億円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は161億円(前年同期比14.8%増)となりました。

📄 P.10 連結業績ハイライト P.11-12 セグメント別業績

2019メディパル中期ビジョン

Change the 卸 next
革新と創造

基本方針

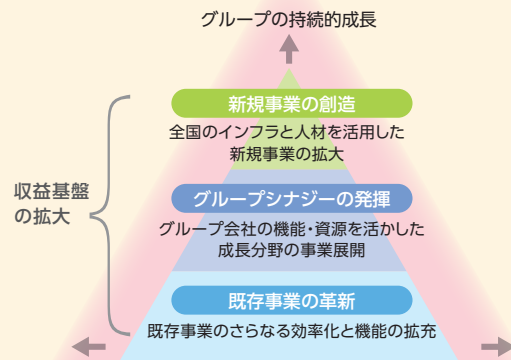
「医療と健康、美」の流通で
社会に貢献する新しい卸の形をめざし、
収益基盤の拡大と持続的な成長を実現します。

経営目標・計画

- 連結経営目標(2019年3月期)
売上高: **3兆2,600億円** 営業利益: **500億円** 経常利益: **650億円**
ROE: **8%**を目標としております。
- 設備投資計画
設備投資総額: **850億円**(2017年3月期～2019年3月期)
- 株主還元
配当方針: 連結配当性向**25%**を目安に、安定配当を継続いたします。

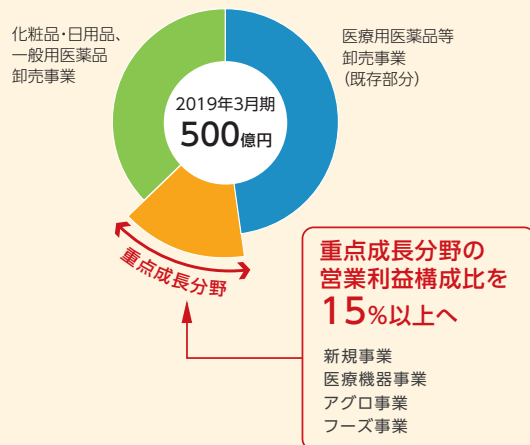
メディパルグループの全体成長イメージ

3つの成長戦略の推進により、収益基盤を拡大し、
グループの成長を続けてまいります。

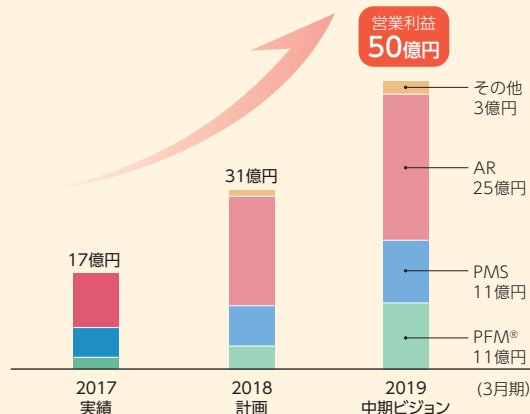


2019メディパル中期ビジョン

利益ポートフォリオ



新規事業の中期ビジョン目標



事業環境の変化や公的制度に 左右されない収益構造への転換

日本では、少子高齢化が進んでおり、高齢者の増加や生産年齢人口の減少が今後の社会や経済に大きく影響いたします。また、医療業界においては国の財政難から、社会保障費の伸びを抑制する動きが活発化してまいります。その一方で、予防医療の推進、セルフメディケーション、地域包括ケアなど、「医療のあり方」が大きく変化していくと考えており、本当に価値のあるものを提供できる企業が成長していくのではないかと考えております。

こうした環境変化のもと、公的制度に左右されない収益構造に転換するために、私たちは事業の多角化に取り組んでおります。

スピード感を持って ビジョンに沿った取組みを推進

医療用医薬品等卸売事業において、物流面では、安全・安心で効率的な流通を実現するALC*の全国拡大を進めております。営業面では、高い専門知識をもったAR*の拡大と育成を進めております。この2つの強みを活かし、ARプロモーション、PMS*、PFM®などの新規事業の推進に取り組んでおります。

新規事業、医療機器事業、アグロ事業、フーズ事業に

おける取組みを重点成長分野と位置づけ、グループシナジーを発揮して新たな収益につなげていくことにスピード感を持って取り組んでおります。

JCRファーマ株式会社との 業務資本提携について

2017年9月21日、JCRファーマ株式会社との業務資本提携を発表いたしました。同社とは2011年7月に開発プロジェクトに関する提携を開始し、2016年2月に国内初の他家由来の再生医療等製品である「テムセル[®]HS注」が発売となりました。テムセルは、骨髄移植後の合併症である急性GVHDを発症した患者さんの治療に貢献できるものです。この製品はマイナス150℃以下での管理・配送が必要であり、両社の知識や技術を集結して「超低温輸送システム」を開発いたしました。

JCRファーマは自由な発想のもと画期的な技術をいくつも生み出し、世の中になくてはならない薬剤を創出することができる会社です。今回の提携により、同社の創薬力とメディパルグループの物流力・販売力という、それぞれの強みを効果的に活かしていきたいと考えております。

今後、医薬品はより高度化し、生産と流通を一体で考えることが求められるようになります。製薬企業と

卸の新しい関係を構築し、お互いの良さが発揮できれば、新たな価値が創造できると思っております。このことは日本の製薬産業のみならず、卸にとっても未来を切り拓く取組みになるのではないかと考えております。

 P.7-8 特集

従業員とともに健全に成長していく

現在、私たちは多様な働き方に応じた環境づくりや、健康リテラシーを向上させる取組みを進めております。従業員とともに健全に成長し、収益を上げていくことが望ましい企業の姿であると考えております。

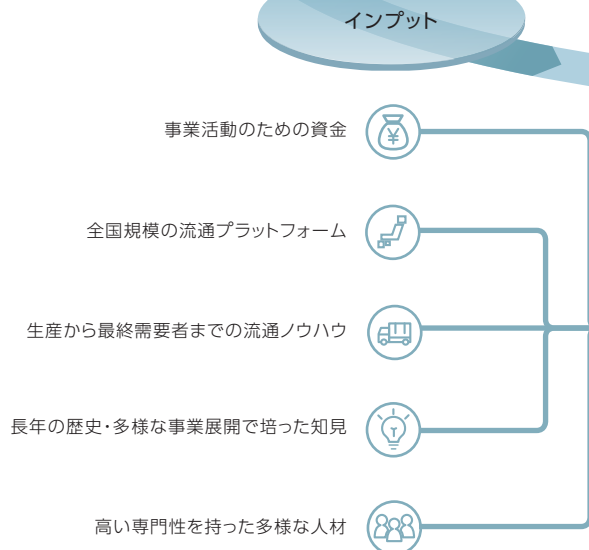
「医療・健康・美」の事業領域において、いついかなるときにも安全・安心な流通であるために、これからもグループの成長・発展に尽力してまいります。

 P.9 クローズアップ

メディパルグループの価値創造プロセス

私たちは、「流通価値の創造を通じて人々の健康と社会の発展に貢献します。」という経営理念のもと、医療と健康、美のフィールドで、メーカーと全国の医療機関、小売業などをつなぐ流通グループです。

グループ各社が全国規模の流通プラットフォームや、高い専門性をもつ人材などを活用して、必要とされる商品の安定供給や情報の提供を行い、さまざまなステークホルダーからの期待にお応えしています。これらの取組みを通じて創出した利益を事業基盤の強化に再投資し、新たな価値の創造と提供に努めています。



第6回 教えてメディパルグループ グループ会社をシリーズで紹介しています



株式会社 MMコーポレーション

MM CORPORATION

設立	1951年1月
事業内容	医療機器、医療材料等の販売
売上高	761億73百万円(2017年3月期)
従業員数	388名(2017年3月31日現在)

MMコーポレーションは、医療機器・医療材料を医療機関にお届けする総合卸売企業です。商品の安定供給はもちろん、多様化する医療材料の一元管理を効率的に行う「院内物品管理システム」をはじめ、先進医療の持つ緊急性、安心・安全性、経済性などさまざまな情報・サービスの提供を通じて、人々の健康と社会の発展に貢献しています。

メディパルグループ

経営理念

流通価値の創造を通じて人々の健康と社会の発展に貢献します。

事業活動

アウトプット

ステークホルダーに
提供する価値

医療用医薬品等
卸売事業

▶ 安定的な商品の供給

化粧品・日用品、一般用医薬品
卸売事業

▶ 適正な情報の提供

動物用医薬品・食品加工原材料等
卸売事業

▶ お得意様業務の効率化支援

▶ 新しい付加価値の創造

安全・安心な医療

豊かで快適な生活

動物の健康

食の安全・安心

安定的な株主還元

専門性を発揮できる職場環境

メディパルDictionary

ALC : Area Logistics Center	医療用医薬品や医療材料などを扱う高機能物流センター。主に、調剤薬局、病院、診療所に商品を供給
FLC : Front Logistics Center	ALCと連携して、顧客に近い場所で商品の安定供給を支える営業兼物流拠点
PRESUS® : Pharmacy Real-time Support System	ALCと連動して、需要予測による自動発注や在庫管理などを行うオールインワンのシステムで、調剤薬局内の各種業務をサポート
AR : Assist Representatives	MR認定試験に合格したMS (医薬品卸売業の営業担当者) や薬剤師などに付与した社内呼称
PMS : Post Marketing Surveillance	医療用医薬品を発売した企業が、製品の品質、有効性、安全性を確認するために法的に義務づけられた調査
PFM® : Project Finance & Marketing	医療用医薬品の開発投資を通じて、製薬企業とともにリスクとリターンを共有するビジネスモデル
RDC : Regional Distribution Center	化粧品・日用品、一般用医薬品などを扱う大型物流センター。小売業に商品を供給
FDC : Front Distribution Center	発注頻度の高いケース商品を在庫し、RDCを支援する物流センター

JCRファーマとの業務資本提携

2017年9月にJCRファーマ株式会社と業務資本提携を行いました。

今後、両社で合併会社を米国に設立し、合併会社を通じて、同社が国内での臨床開発を行っている「JR-141」および前臨床段階にある「JR-162」について、早期に米国での臨床開発を開始する予定です。米国で事業基盤を確立し、その後の海外進出の足場とすることをめざします。



メディパルホールディングス 渡辺社長(左)と
JCRファーマ(株) 芦田 信 代表取締役会長兼社長(右)



物流力・販売力



創薬力

JCRファーマのスペシャリティ医薬品を中心とした創薬力と
メディパルの物流力・販売力を活かして
新たな価値を創造します。

業務資本提携契約締結の経緯

2011年7月	開発プロジェクトに関する提携
2011年9月	開発投資契約
2016年2月	日本初 他家由来再生医療等製品「テムセル®HS注」発売 超低温輸送システムを共同開発
2016年7月	開発投資契約
2017年9月	業務資本提携契約締結



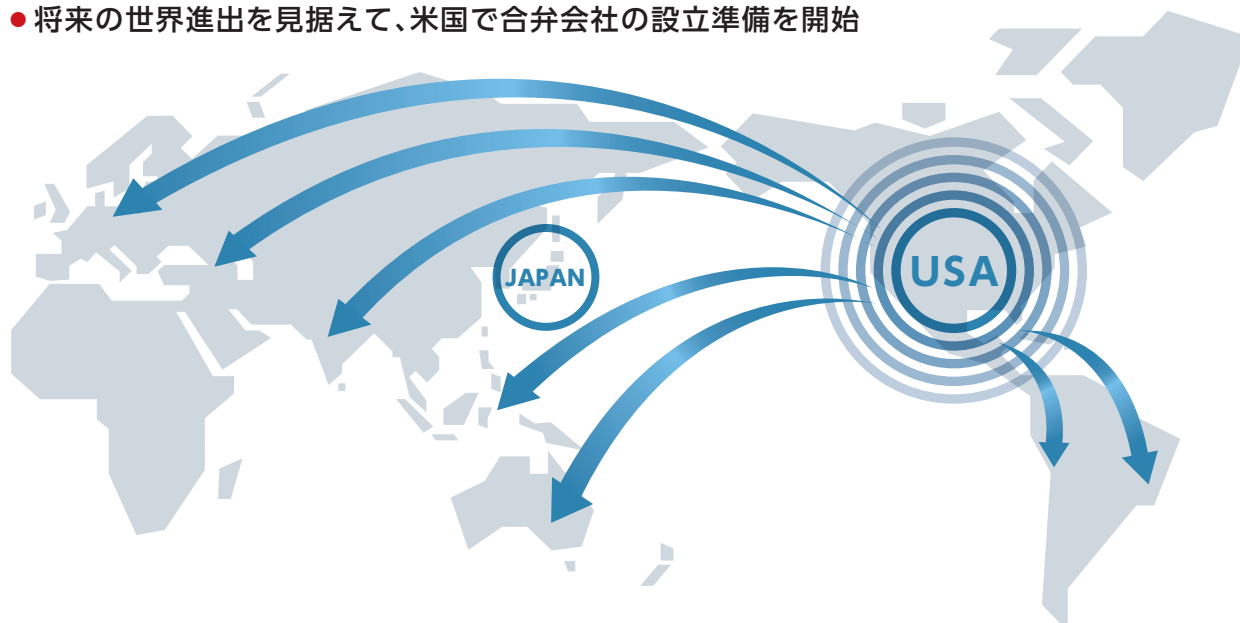
JR-141

血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤

JR-162

J-Brain Cargo®適用ポンペ病治療酵素製剤

- JCRファーマの株式を22%取得
- 将来の世界進出を見据えて、米国で合併会社の設立準備を開始



JPX日経インデックス400に選定

メディパルグループは、資本の効率的活用や投資家を意識した経営など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資家にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数JPX日経インデックス400に2014年8月から継続して選ばれています。



日本健康マスター検定への取り組み

2017年よりスタートした日本健康マスター検定は、健康経営の浸透とともに企業や自治体での導入が進んでいます。メディパルグループでは、同検定に挑戦しており、これまでに2,078人が合格しました(2017年9月30日現在)。従業員の健康リテラシーを高め、社会に貢献していきます。



地域限定勤務制度を導入～メディセオ～

メディパルグループでは、従業員それぞれのライフスタイルや価値観を大切にしたい働き方ができる職場づくりに取り組んでいます。

株式会社メディセオでは、地域限定勤務制度を導入しています。異動による不安が伴わない職場で長期的に仕事に専念できる環境づくりとともに、地域の雇用創出に貢献しています。

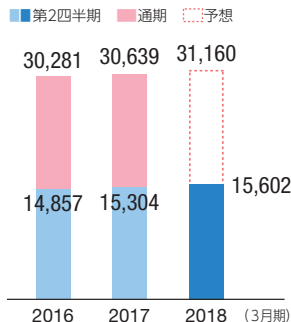


2017年4月3日開催の(株)メディセオ 入社式の様子

連結業績ハイライト (2018年3月期第2四半期)

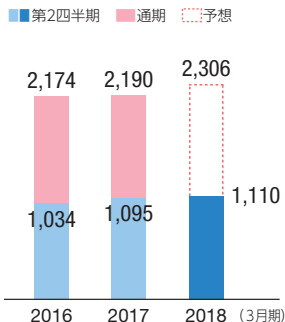
売上高

(単位:億円)



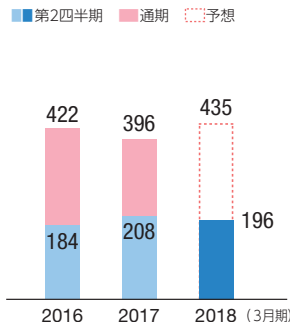
売上総利益

(単位:億円)



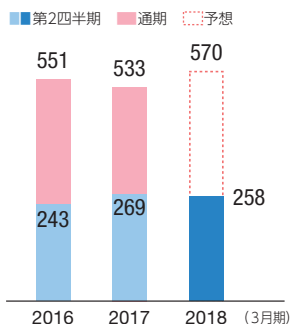
営業利益

(単位:億円)



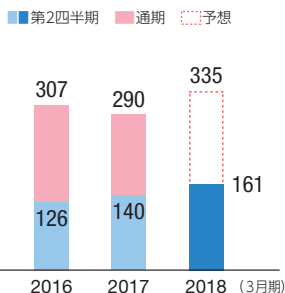
経常利益

(単位:億円)



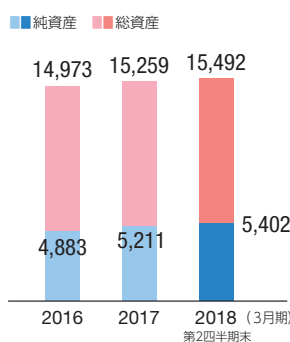
親会社株主に帰属する 四半期純利益

(単位:億円)



純資産／総資産

(単位:億円)



売上高

1兆5,602億円

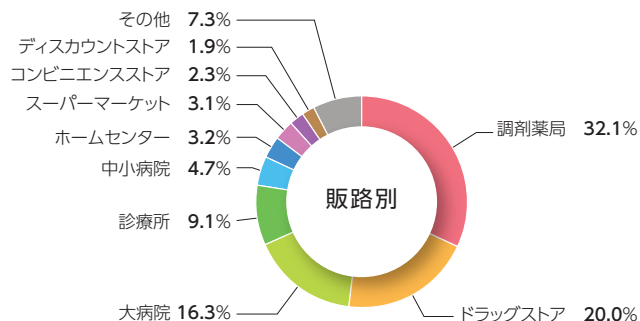
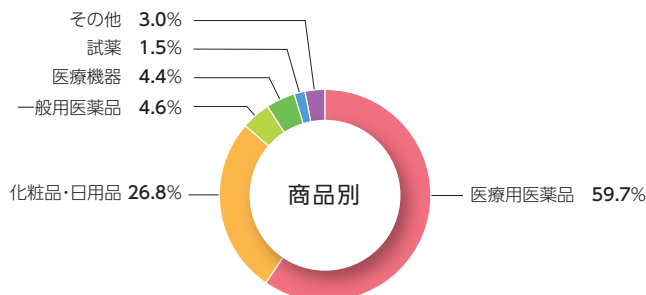
営業利益

196億円

親会社株主に帰属する 四半期純利益

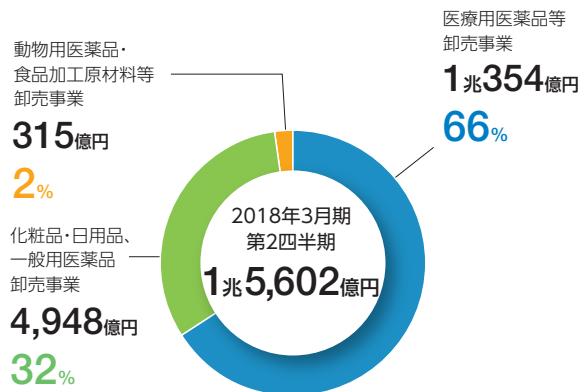
161億円

売上高の内訳

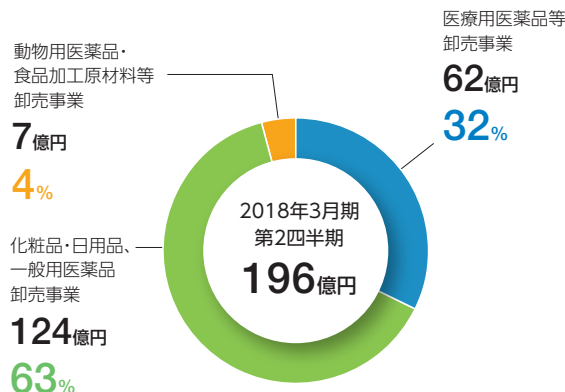


セグメント別業績 (2018年3月期第2四半期)

セグメント別売上高構成比



セグメント別営業利益構成比



※連結消去の数字を除いて表示しているため、合計は100%になりません。

医療用医薬品等卸売事業



後発医薬品の使用促進やC型肝炎治療薬の需要減などにより市場がマイナス成長となりました。そのような中、製薬企業から患者さんに至るまでのサプライチェーン全体の最適化・効率化を図るべく、卸機能を最大限に発揮するためのさまざまな取組みと投資を積極的に行いました。

- 高品質・高機能かつ災害対策を施したALC・FLC※¹の全国への拡大。
- 「PRESUS®※¹」による安全な医薬品管理体制の構築や医療従事者の業務効率の改善への取組み。
- ARプロモーション、PMS、PFM®などの新規事業が収益に貢献。

- (株)メディセオ
- (株)エバルス
- (株)アトル
- SPLine (株)
- (株)MMコーポレーション
- (株)アステック
- (株)MVC
- メディエ (株)
- (株)エム・アイ・シー
- (株)トリム

売上高

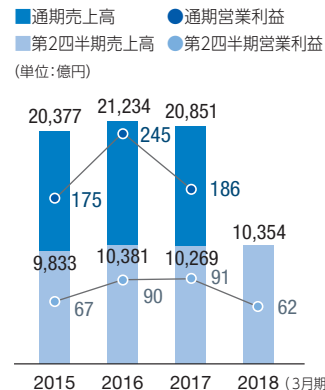
1兆354億円

前年同期比 0.8%増

営業利益

62億円

前年同期比 31.2%減



化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業



売上高、利益ともに堅調に推移するなか、中長期成長に向け「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、サプライチェーン全体の最適化・効率化をめざした取組みを推進しました。また、営業体制の強化および物流機能の強化を図りました。

- 配送効率向上をめざし「FDC※¹広島」の稼働を開始。
- 「RDC※¹沖縄」の増設完了による出荷能力の拡大。
- 出荷能力拡大に備え「RDC新潟」のリプレースを計画しており推進。

● (株)PALTAC

売上高

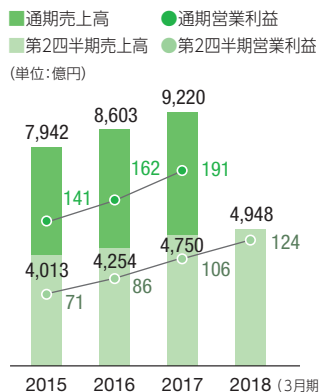
4,948 億円

前年同期比 4.2 %増

営業利益

124 億円

前年同期比 16.3 %増



動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業



動物用医薬品の販売は、畜産向け市場において新商品のワクチンや飼料添加物を中心に積極的な取組みを行ったことにより、順調に推移しました。また、コンパニオンアニマル※²向け市場において皮膚疾患治療薬や高齢化に関わる商品が伸長したこと

や、独自の動物病院向けWEB発注情報システム「MP+® (エムピープラス)」の利用が拡大したことなどにより、順調に推移しました。

食品加工原材料等の販売は、大手顧客との取引が拡大したことなどにより、順調に推移しました。

● MPアグロ (株)

● メディパルフーズ (株)

売上高

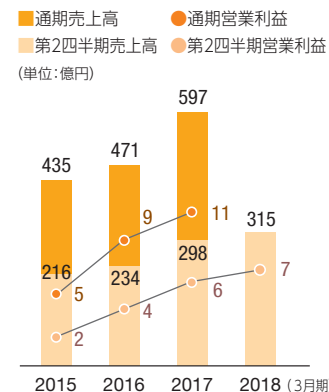
315 億円

前年同期比 5.6 %増

営業利益

7 億円

前年同期比 22.1 %増



※1 用語説明は、6ページのメディパルDictionaryをご参照ください。

※2 コンパニオンアニマルとは、伴侶動物とも表現され、日常生活のなかで人とより密接な関係を保つような動物を指しております。

会社概要 (2017年9月30日現在)

商号	株式会社メディパルホールディングス	
本社所在地	〒104 - 8461 東京都中央区八重洲二丁目7番15号	
資本金	223億98百万円	
創業	1898(明治31)年10月8日	
設立	1923(大正12)年5月6日	
従業員数	13,807名(連結ベース)	
取締役	代表取締役社長	渡辺 秀一
	専務取締役	長福 恭弘
	常務取締役	依田 俊英
	取締役	左近 祐史
	取締役	長谷川 卓郎
	取締役	渡辺 紳二郎
	取締役	二宮 邦夫
	社外取締役	川野辺 充子
	社外取締役	加々美 光子
	社外取締役	浅野 敏雄
監査役	常勤監査役	木瀬 彰
	常勤監査役	平澤 利夫
	社外監査役	板澤 幸雄
	社外監査役	北川 哲雄
	社外監査役	豊田 友康
執行役員	主席執行役員	木村 友彦
	主席執行役員	鎗水 博司
	上席執行役員	清水 雅明
	上席執行役員	川原 正範
	上席執行役員	竹村 秀明
	執行役員	高世 健一
	執行役員	京極 光弘
	執行役員	中村 公雄
	執行役員	筒井 久
	執行役員	桑島 洋一
	執行役員	柏木 整
	執行役員	橋田 一夫

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業

株式会社メディセオ(東京都中央区)
株式会社エパルス(広島市中区)
株式会社アトル(福岡市東区)
SPLine株式会社(東京都中央区)
株式会社MMコーポレーション(東京都文京区)
株式会社アステック(茨城県つくば市)
株式会社MVC(福岡市東区)
メディエ株式会社(東京都中央区)
株式会社エム・アイ・シー(東京都文京区)
株式会社トリム(神戸市中央区)
四国薬業株式会社(愛媛県伊予郡砥部町)*
株式会社よんやく(愛媛県伊予郡砥部町)*
中澤氏家薬業株式会社(高知県南国市)*
東七株式会社(長崎県佐世保市)*

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

株式会社PALTAC(大阪市中央区)

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業

MPアグロ株式会社(北海道北広島市)
メディパルフーズ株式会社(札幌市中央区)

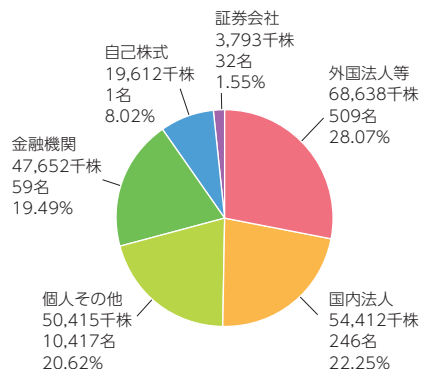
※ 資本・業務提携会社

株式の状況 (2017年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	900,000,000株
発行済株式総数	244,524,496株
株主数	11,264名

所有者別分布状況 (持株比率)

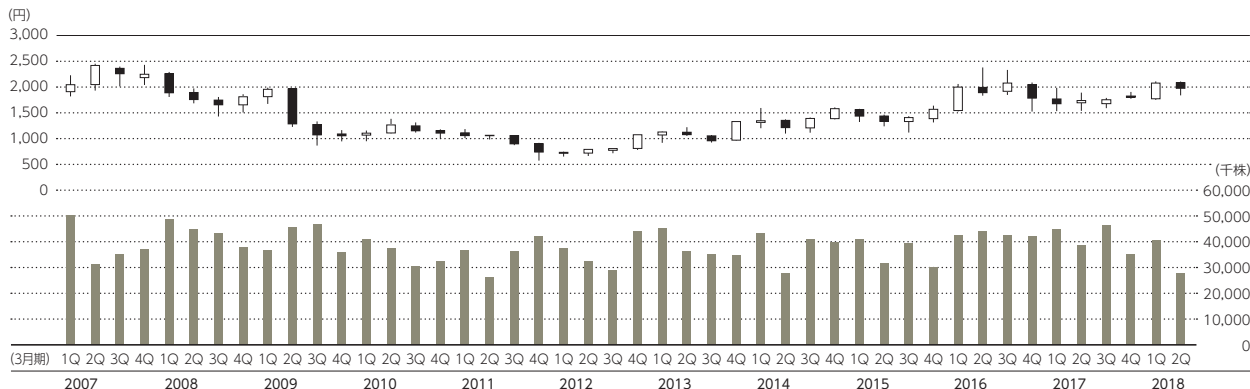


大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
武田薬品工業株式会社	22,900	10.18
MPグループメディセオ従業員持株会	7,679	3.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,420	3.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,632	2.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・エーザイ株式会社退職給付信託口)	5,845	2.60
小林製薬株式会社	5,074	2.26
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND	4,365	1.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	3,726	1.66
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	3,274	1.46
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	3,152	1.40

- (注) 1. 当社は自己株式19,612千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。
3. 持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

株価および株式売買高の推移 (四半期足)



株主メモ

(2017年9月30日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会基準日 毎年3月31日
	期末配当基準日 毎年3月31日
	中間配当基準日 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7459
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168 - 0063 東京都杉並区泉和二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120 - 782 - 031 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(インターネット ホームページ照会先)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

マイナンバー制度に関する 手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

株式関係事務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書に株主さまのマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。このため、株主さまからお取引のある証券会社等へ、以下のとおりマイナンバーを届出いただく必要がございます。

証券会社の口座で株式を管理されている株主さま

お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主さま

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部(左記の電話照会先)までお問い合わせください。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、上記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

見直しに関する注意事項

この株主通信に記載されている当社グループの計画、見直し、戦略などは、経済の動向、業界の動向、市場の競争状況などの影響を受けます。そのため、実際の業績はこれら見直しと異なる可能性がありますことをご承知おきください。